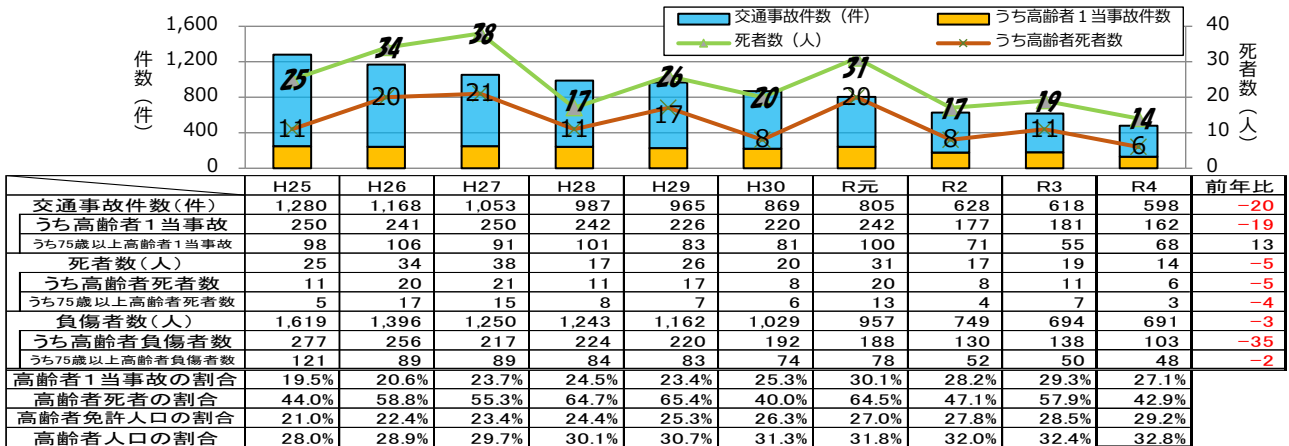


1 交通事故発生状況（過去10年の推移）

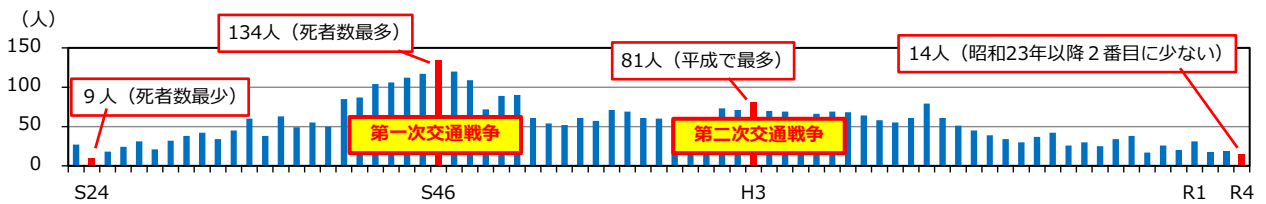


【令和4年の特徴】

- 死者数は14人と前年から5人減少し発生件数及び負傷者数は平成17年以降18年連続で減少
- 歩行中の死者数は2人（すべて高齢者・横断中）と前年の9人から7人減少（減少率77.8%）
- 高齢者の死者数は6人（構成率42.9%）と前年の11人から5人減少（減少率45.5%）
- 発生件数が600件を下回ったのは、昭和33年（581件）以来64年ぶり

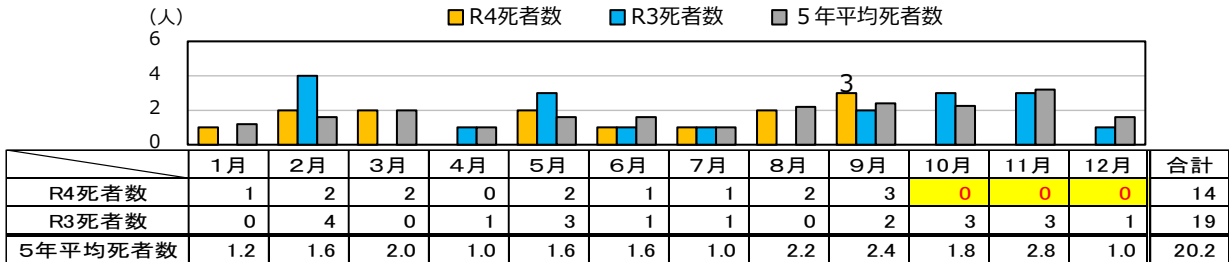
2 交通死亡事故の発生状況

(1) 死者数の推移



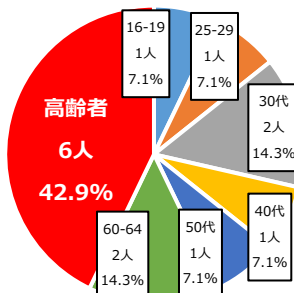
- 令和4年の死者数14人は、統計を取りはじめた昭和23年以降で昭和24年の9人に次いで少ない

(2) 月別死者数

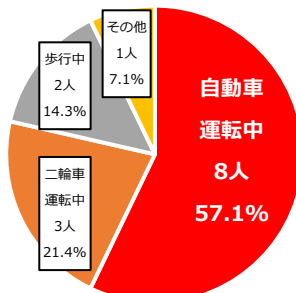


- 9月に年間最多となる3件（死者数3人）発生するも、4月、10月から12月までの発生なし

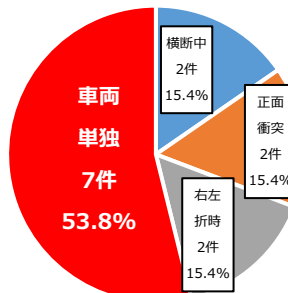
(3) 年齢別死者数



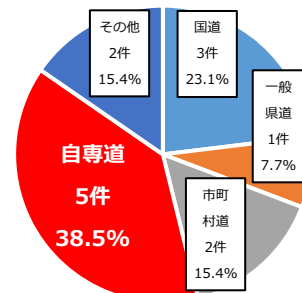
(4) 状態別死者数



(5) 事故類型件数



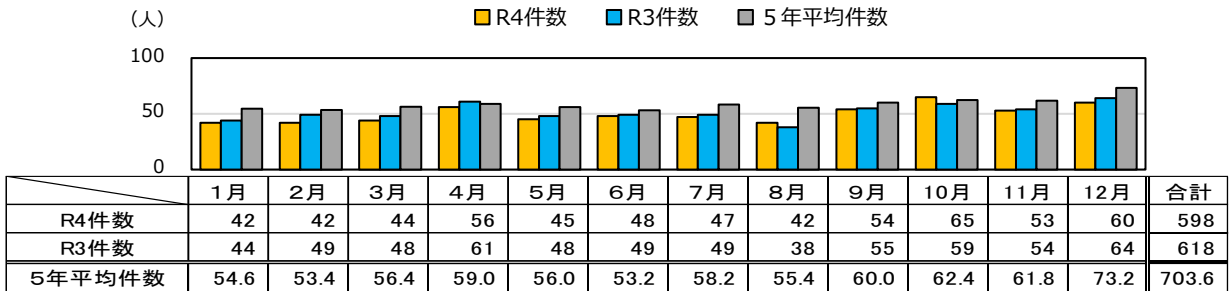
(6) 路線別件数



- 年齢別：65歳以上の高齢者が6人（構成率42.9%）で最多
- 状態別：自動車運転中が8人（構成率57.1%）で最多、歩行中は2人（構成率14.3%）
自転車乗用中の死者は前年に引き続いて0人
- 事故類型別：車両単独事故が7件（構成率53.8%）と多発
- 路線別：自動車専用道路が5件（構成率38.5%）と多発

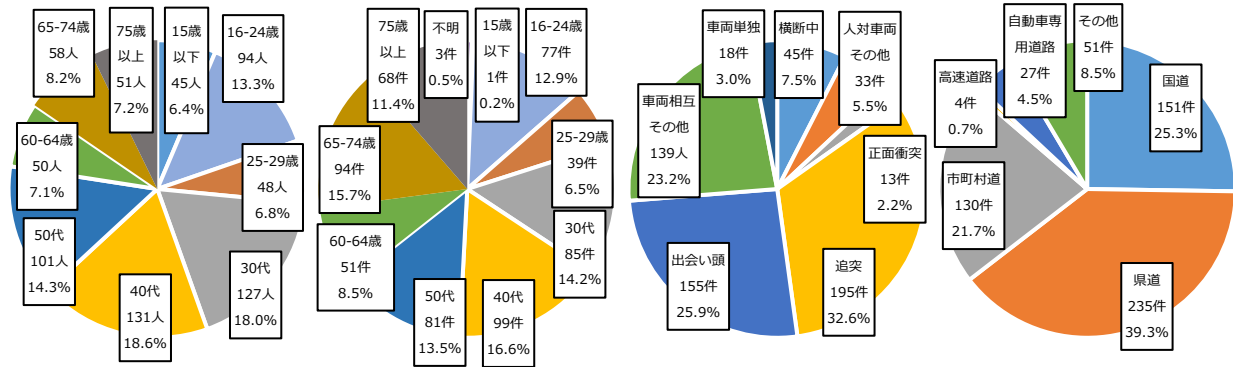
3 交通事故の発生状況（死亡事故を含む）

(1) 月別発生状況（発生月）



○ 令和4年中は10月が65件（10.9%）と最も多く、次いで12月の60件（10.0%）

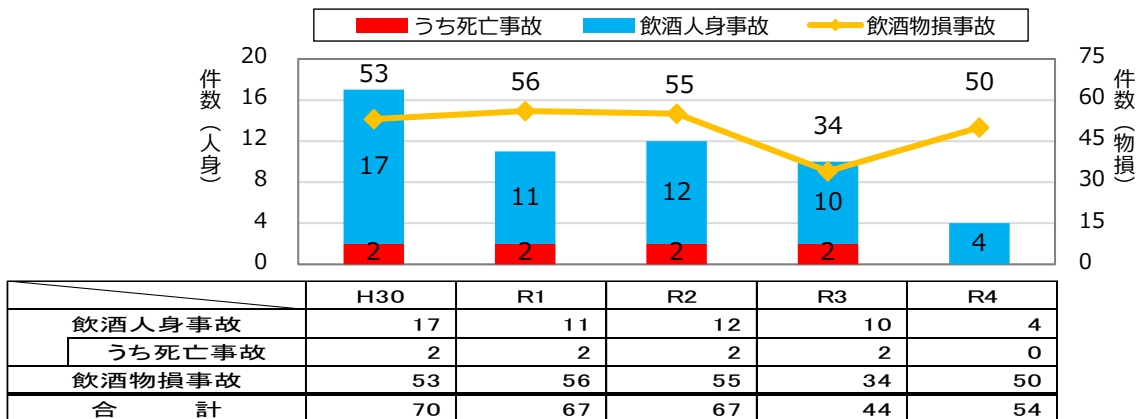
(2) 年齢層別死傷者数 (3) 第1当事者の年齢層別件数 (4) 事故類型別件数 (5) 路線別件数



- 年齢別：40代が131人（18.6%）で最も多く、65歳以上の高齢者は109人（15.5%）
- 第1当事者の事故：65歳以上の高齢者が162件（27.1%）で最多
- 事故類型別：追突が195件（32.6%）と最も多く、次いで出会い頭の155件（25.9%）
- 路線別：県道での発生が235件（39.3%）と最も多く、次いで国道の151件（25.3%）

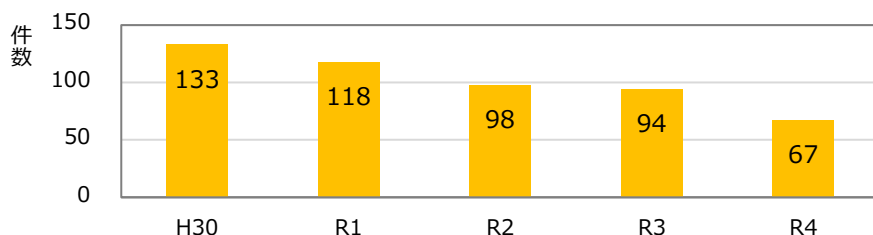
4 飲酒交通事故・飲酒運転取締り状況

(1) 飲酒交通事故発生状況



○ 飲酒を伴う交通事故の総数は前年から10件増加するも、人身事故は6件減少し、死亡事故の発生はなかった。

(2) 飲酒運転取締り状況



○ 飲酒運転の検挙件数は67件と前年から27件減少

※ 割合（構成率等）については、単位未満で四捨五入しているため、合計が100とならない場合がある。